

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、米国で公表された各経済指標が強弱入り混じる内容になった他、週末に控える大規模デモ（ルセフ大統領の弾劾を要求）を見極めたいとの思惑から、方向感なく推移。取引開始直後に3.52台前半を付ける場面も見られたが、引けにかけては3.48台前半までレアル買いが進行した。米7月生産者物価指数は前月比0.2%増となったものの、変動の大きいエネルギー・食料価格を除いたコア指数は前月比0.2%と、前月（0.3%増）に続き緩やかな伸びに留まった（インフレ圧力は依然として高まっていない）。一方、米7月鉱工業生産指数は前月比0.6%増と市場予想を上回った（但し、前月分は下方修正）。11日に実施された中国の実質的な人民元切り下げ措置を受けて、先週のマーケットは混乱がグローバルに拡大したが、本日のアジア時間を見る限り、為替相場は安定を取り戻しつつある。今回の中国当局の対応はFRBの利上げ見通しにも大きな影響を及ぼしたが、徐々に経済ファンダメンタルズに沿った動きに回帰することが予想される。

週末にブラジル各都市で行われたルセフ大統領の弾劾を求めるデモは、参加者が数十万にまで拡大した模様。大規模デモは3月以降で3回目。ルセフ大統領の支持率はブラジル経済の低迷と相俟って、直近の世論調査で1桁台にまで急降下している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月13日	8月14日	前日比	7月14日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,5192	3,4827	-0,0365	3,1401	+0,3426
	対円	JPY	35,36	35,70	+0,34	39,29	-3,59
	対ユーロ	BRL	3,9254	3,8697	-0,0557	3,4585	+0,4112
円	対ドル	JPY	124,43	124,31	-0,1200	123,40	+0,9100
	対ユーロ	JPY	138,75	138,10	-0,65	135,84	+2,26
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	48.010	47.508	-502	53.239	-5.731
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	307,3	305,0	-2,3	254,1	+50,9
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	13,50	13,59	+0,09	12,58	+1,01
DI Future Oct16（金利先物）		%	14,14	14,10	-0,04	13,78	+0,32
3 Months US Dollar Libor		%	0,321	0,324	+0,003	0,289	+0,035
CRB Index（国際商品指数）		Index	197,8	198,0	+0,2	219,4	-21,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

